

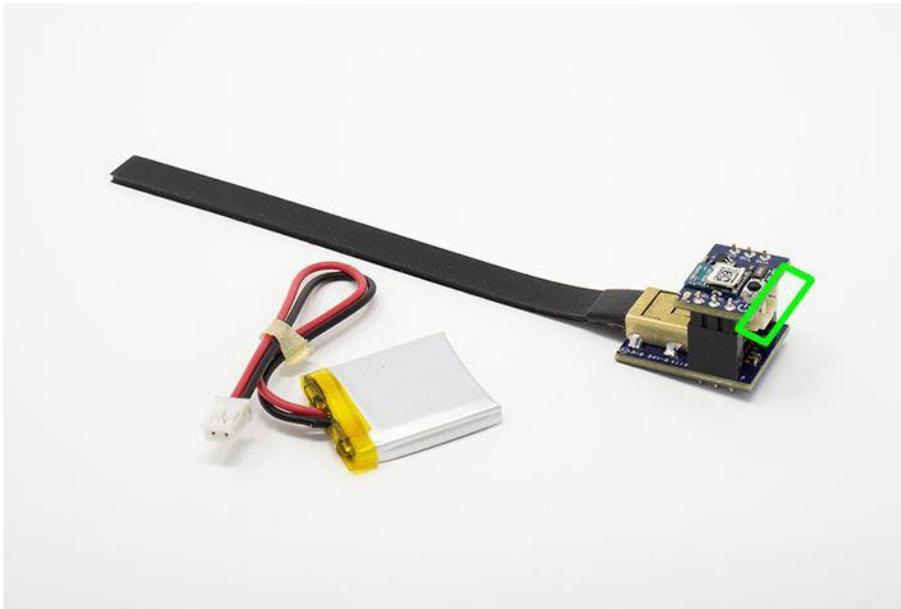
## Bendlabs社製軟質角変位センサーBluetoothキットスタートガイド

最新：Androidデバイスがない場合でも、センサーキットをArudinoを使って直接パソコンに接続することが可能になりました。最新のドキュメントコメントをご覧ください。[https://github.com/bendlabs/eval\\_kit\\_ble\\_client\\_demo](https://github.com/bendlabs/eval_kit_ble_client_demo)

私たちのこのキットによる目的は、テストやテストデータの記録や入力、設定等を可能な限りプラグアンドプレイで自動的に行うことです。  
このガイドではBluetoothを介したAndroid アプリでセンサーに接続する方法を説明します。

### Android アプリ+ BLE (Bluetooth Low Energy)

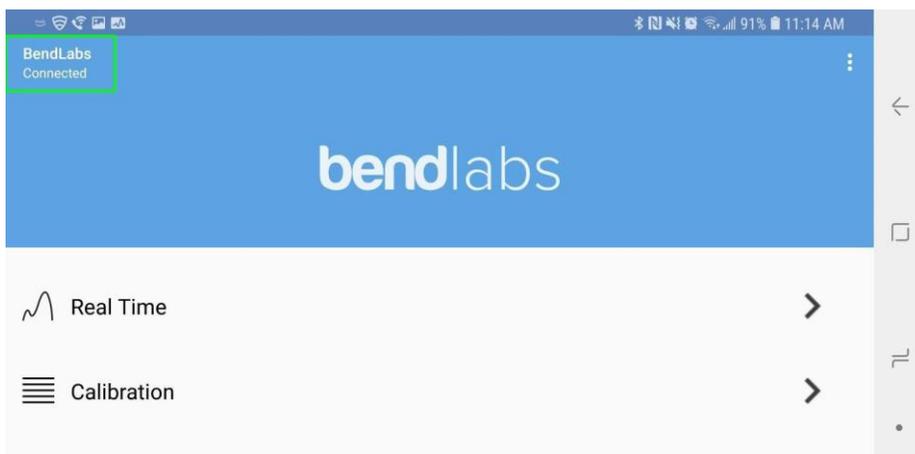
1. BLEモジュールをセンサ本体へ差し込み、次にバッテリーを下図の緑図のように BLE モジュールの下側に挿入します。



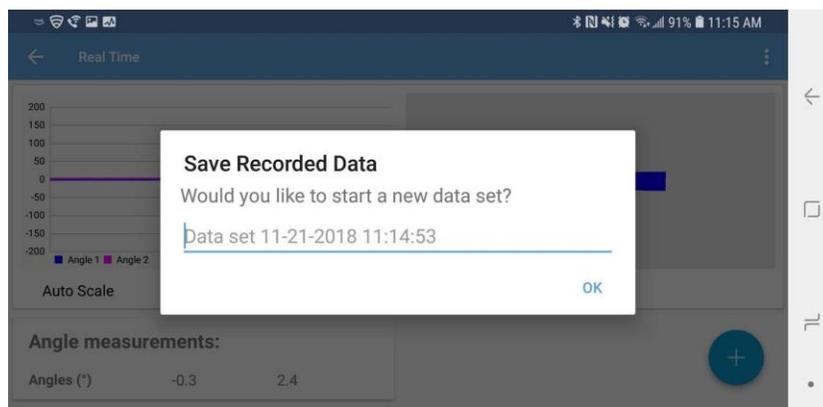
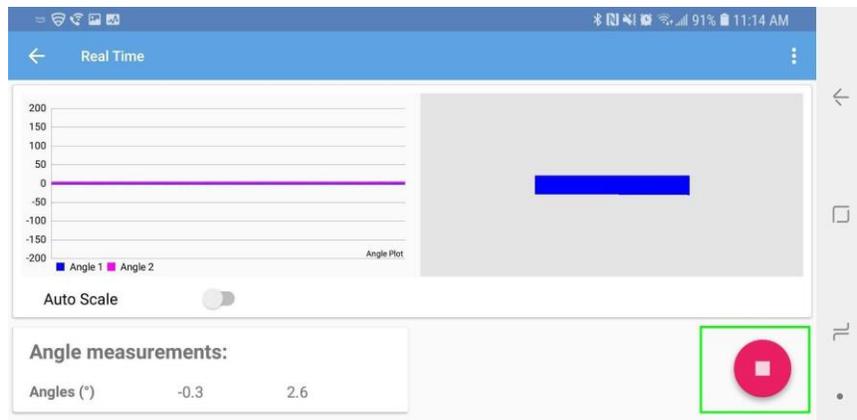
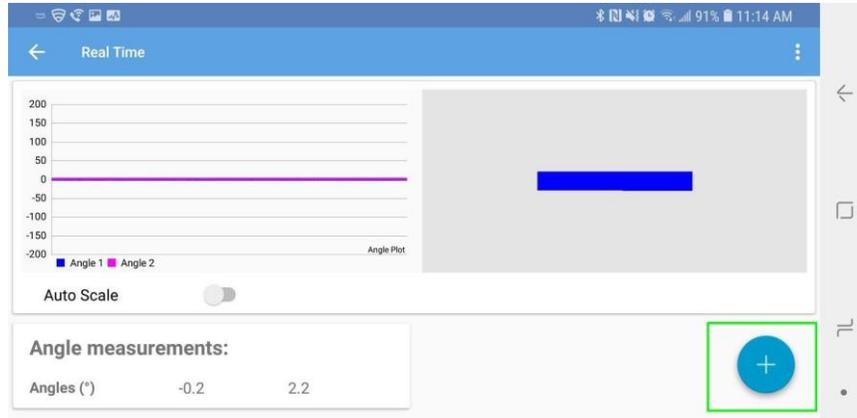
2. バッテリーをBLEモジュールに差し込むとペアリングの準備状態に入ります(約30秒間)
3. BLEモジュールが準備している間は、モジュールのLEDランプが赤く点滅します。
4. Androidアプリ：Google Play Store からBendlabs Connect アプリをインストールして起動します。
5. <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.bendlabs.connect>
6. アプリケーションがBLEモジュールを見つけて、デバイスの名前を表示します。MAC アドレス ads\_eval\_kitという名前の検出されたデバイスをクリックします。



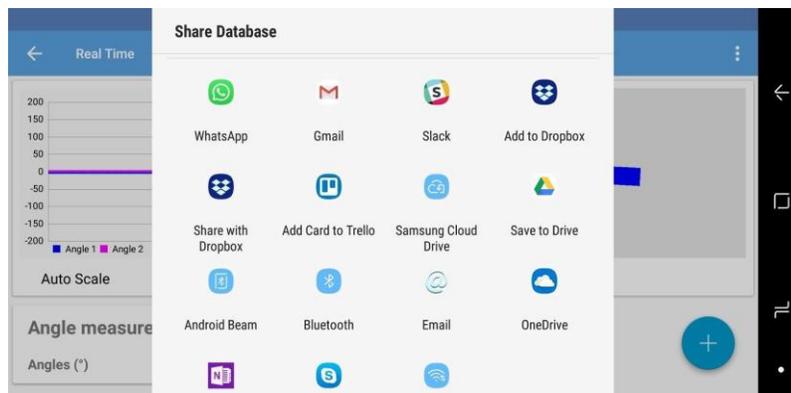
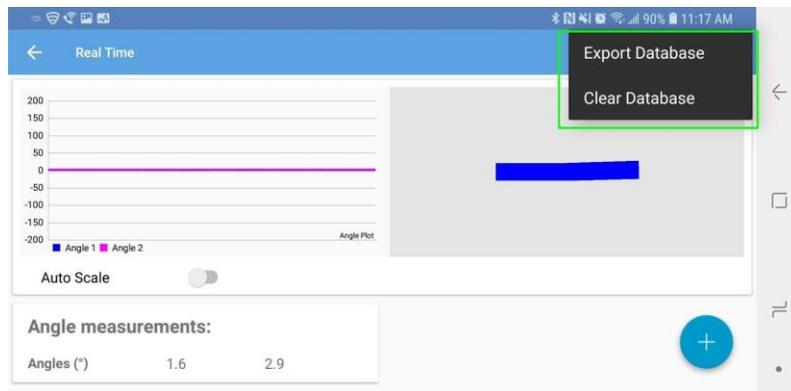
7. デバイスが正常に接続されると下写真のようにページ左上の表記が『connecting』から『connected』へ変わります。



8. デバイスに接続したら、メニュー項目の『Real Time』をタップして角度出力を確認します。
  - a. データの記録：この画面からFloatingを使って角度出力を記録できます。画面の右下にあるアクションボタンをタップすると記録を開始して、もう一度タップして停止します。



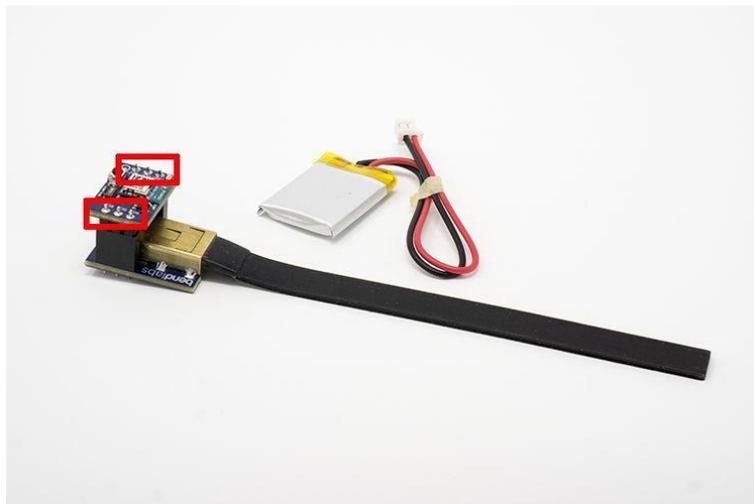
- b. データのエクスポート：記録されたデータは全て、エクスポートが可能なSqliteデータベースに保存されます。右上の3ドットのメニューをクリックして『Export database』をタップするとエクスポート先を選択できます。



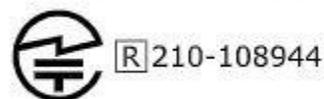
9. Bluetooth接続を切断する時はアプリを終了してください。
10. アプリがBLEモジュールのred LEDの接続を切断するとシャットオフする前に約30秒間、red LEDランプが、点滅します。
11. 再び、BLEモジュールをペアリング状態にする場合はモジュールの電源ボタンを一度押してください。

## 注意

- 1軸タイプと2軸タイプのBLEモジュールは共通ですので共有して使用することができます。
  - バッテリーを外して、BLEモジュールを付け替えてください。
- 操作中は下写真のオスとメスのはんだ箇所に触れないでください。  
BLEの通信が停止することがあります。



Contains transmitter module with certificate number:



※本製品は特定無線設備の技術基準適合証明のマーク（技適マーク）の認証を取得しています。

## 電源ボタン操作

BLEモジュールステータス	電源ボタン機能
Power off	電源ボタンを長押し(2秒以上)で電源を切ることができます
Connected/Advertising	電源ボタンを押すと約30秒間のペアリング準備状態になります。

## LEDユーザーインターフェイス

LEDステータス	BLE モジュールステータス
消灯	OFF
点滅	ペアリング準備状態、接続準備中
点灯	モジュールがアプリに接続中

日本総代理店



株式会社ヒロテック

本社：〒270-1359 千葉県印西市木刈6-20-13  
東京営業所：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-1-3  
TEL 03-5200-2201  
FAX 03-5200-2212